

電気通信大学 平成18年度シラバス

授業科目名	露語演習		
英文授業科目名	Intermediate Russian		
開講年度	2006年度	開講年次	2年次
開講学期	3学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化演習科目		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	斎藤 毅		
居室	非常勤講師		

公開E-Mail	授業関連Webページ
tksh.saito@nifty.ne.com	

【主題および達成目標】
<p>この授業は、前年度の「露語第一・第二」の続編の授業です。前学期の「露語演習」、後学期の「露語運用演習」あわせて1年間で、前年度にもちいた教科書、『ロシア語文法への旅』を終わらせることを目標とします。</p> <p>この教科書を1冊マスターすれば、ロシア語の力はかなりついたと思ってよいでしょう。また、ロシアの生活や文化についての話にもウェイトを置くつもりでいます。やる気のある人たちの受講を、ぜひ待っています。</p>

【前もって履修しておくべき科目】
露語第一・第二

【前もって履修しておくことが望ましい科目】
なし

【教科書等】
教科書：黒田龍之介『ロシア語文法への旅』（大学書林） 参考書：米重文樹『パスポート初級露和辞典』（白水社）

電気通信大学 平成18年度シラバス

【授業内容とその進め方】

基本的に昨年度の「露語第一・第二」と同じやり方で授業を進めます。前学期の「露語演習」では、教科書の第15課から始め、第20課まで進むことを目安とします。

また、ほぼ毎回の授業で、ロシアの映画を少しずつ見ることにします。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

評価方法

- 1) 平常点(出席、授業時に行なう小テスト、授業での参加態度など)
- 2) 学期末試験またはレポート

評価基準

以下の到達レベルをもって合格の最低基準とします：

- 1) 毎回の授業に出席し、課題をきちんとこなしている
- 2) 学習した範囲の文法事項を理解している
- 3) 学習した範囲の単語の意味が分かる

【オフィスアワー：授業相談】

質問・相談は授業終了後に受け付けますので、遠慮なく来てください。

【学生へのメッセージ】

大学を出てしまうと外国語を勉強する機会はなかなかありません。履修しようか迷っている人は、あまり難しく考えずに、とにかく最初の授業に足を運んでみてください。

【その他】